

薬物療法における看護実践能力尺度の開発

研究分野 医歯薬学

キーワード: 薬物療法 看護実践能力

貢献できるSDGsの区分:



看護栄養学部 看護学科 講師 坂本仁美

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/h-sakamoto-2/>

研究概要

薬物療法に関する看護業務は、様々な要因を背景に年々増加している。その中で、看護における臨床薬理学教育は、看護職の専門化・多様化・高度化に伴い学士教育のみならず大学院教育においても急速に進んでいる。しかし、看護職を当事者とする薬物療法における医療事故は後を絶たず、種々の対策が実施されているものの減少傾向にはない。それは、一般病院に勤務する多くの看護師・訪問看護師を対象とした一貫性のある継続的な、また個々の実践能力に応じた薬物療法実践教育プログラムの数が十分ではないこと、さらに看護師の薬物療法における実践能力を、定量的に評価できる指標が存在しないことが原因であると推察される。そこで、実践能力に応じた教育プログラムの構築を目指し、本研究では日本の看護師に適応できる「薬物療法における看護実践能力尺度」を開発することを目的とする。

産学連携の可能性(アピールポイント)

・看護学士課程にとどまらず、現任教育のベース、また薬物療法を扱う専門職としての実践能力評価につなげることができる

外部との連携実績等

外部資金: 科研費 25K13763